

2023  
Aug.

Vol. 53

一般社団法人栃木県診療放射線技師会  
情報誌

## あすたーと

芳賀・宇都宮 LRT



■芳賀・宇都宮LRTは、「宇都宮駅東口」から「芳賀・高根沢工業団地駅」までをむすぶ、14.6kmの次世代型路面電車システムです。車両は黄色と黒のツートンカラーで、流線形が特徴、「ライトライン」という愛称が付けられました。駅（停留場）は起終点を含めて19か所設置され、駅西側延伸についても2026年に工事着手、2030年代の開業を目指しています。いよいよ、8月26日(土)に開業スタート（出発進行!）です。

## CONTENTS

■ 巻頭言	AIについて想像してみた	2
■ 役員人事	令和5・6年度 役員人事	3
	令和5・6年度 各地区連絡員担当施設名一覧	4
	令和5・6年度 地区別担当連絡員	4
	新任理事としての抱負	6
■ 会告	診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」の開催について	7
■ 報告	第99回 定時社員総会開催報告	8
■ 報告	令和5年度 第1回 卒後教育講座開催報告	11
■ 報告	フレッシューズセミナー開催報告	14
	フレッシューズセミナーに参加して	15
■ 報告	第86回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会参加報告	16
■ 会員報告	2023年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会（山梨大会）参加体験記	17
■ 事務局報告		19
■ INFORMATION		20

## AI について想像してみた



一般社団法人 栃木県診療放射線技師会  
会長 吉成 亀 蔵

まだ暑い日も続いておりますが皆さま体調をお崩しになっておりませんか。

いまだにコロナ禍で対応に苦勞されていることと思います。皆さまの日々のご尽力と献身的な対応に誇りを感じております。

いまや時代は人工知能AI：Artificial Intelligence（アーティフィシャル インテリジェンス）が多方面に取り入れられて変化をしております。

AIについて学んでみましょう。計算の概念とコンピュータを用いて知能を研究する計算機科学（コンピュータサイエンス）の一分野で言語の理解や推論、問題解決など、これまで人間にしか不可能だった知的行為を機械に代行させるためのアルゴリズムを指すそうです。20世紀の宇宙開発競争に続いて、世界各国が積極的にAI開発を進めており、人工知能という概念は軍事利用を含めて多種多様な産業に応用されているといわれております。その歴史は17世紀ごろから始まって本格的な技術研究や実用化が始まったのは20世紀後半。21世紀に入り、ディープラーニングとビッグデータの登場により社会に広く浸透。2010年代の後半からは第三次人工知能ブームといわれ、ディープラーニングを用いた画像認識やテキスト解析、音声認識など、AIは日常に溶け込む身近な概念となっております。機械学習をはじめとしたAI技術により、翻訳や自動運転、医療画像診断や囲碁といった人間の知的活動に、AIが大きな役割を果たしつつあります。文部科学省では、AIが私たちの生活にもっと使われて便利になるように、理化学研究所のセンターなどでAIの基本となる数学やアルゴリズムの研究を進めているようです。



これからの医療にAIが進むと診療放射線技師はどのようになっていくのでしょうか。技師に代わりAIが行う時代が来てしまうのでは…？とったりしています。

今年度の告示研修（実技）が9月～11月にかけて4回開催されます。皆さまの参加をお待ちしております。2025年3月卒業生より学校で行われているため受講は必要なくなります。それまでに受講していただくことをお勧めいたします。どうぞよろしく願いいたします。



写真は、那須烏山市の道沿いに暑い日差しの中、凜と立つひまわりと龍門の滝です。滝の上を烏山線（JR）が走る珍しい路線です。よろしければ足をお運びください。

栃木県診療放射線技師会ホームページ

<http://www.tartnet.com/>

検索

ぜひ一度ご覧ください。

## 令和5・6年度 役員人事

(一社) 栃木県診療放射線技師会

代表理事  
業務執行理事  
理事

会 長	吉成 亀蔵			
副 会 長	金田 幹雄	須藤 昌彦		
常務理事 (事務局長)	大木 敦史	———	副部長 金田 幹雄	委 員 木村理恵子 (事務員)
総務部長	木村 和弘	———	副部長 須藤 昌彦	
財務部長	佐藤 宏	———	副部長 金田 幹雄	
学術部長	木村 友昭	———	副部長 大木 敦史	委 員 飯野 誠/橘川 宏/原口 尚徳
広報部長	樋口 清孝	———	副部長 橘川 宏	委 員 木村 友昭/飯野 誠/原口 尚徳 木村 和弘
組織部長	柏崎 克彦	———	副部長 木村 友昭	委 員 瀬崎 英典
企画部長	三品 祐樹	———	副部長 柏崎 克彦	
地域医療対策部長(表彰)	植木 寛	———	副部長 原口 尚徳	委 員 各地域公衆衛生協会支部長

監 事 小黒 清 若林 克幸

公衆衛生協会支部長

宇都宮地域：園部富美恵	大田原地域：大木 敦史	矢板地域：小森 哲雄
烏山地域：田所 宏道	日光地域：江連 真一	鹿沼地域：斎藤 早苗
真岡地域：飯野 誠	小山地域：大橋 俊之	栃木地域：木村 和弘
佐野地域：植木 寛	足利地域：須藤 昌彦	

地区役員

(1地区) 理 事 橘川 宏	(2地区) 理 事 木村 友昭	(3地区) 理 事 飯野 誠
副理事 樋口 清孝	副理事 金田 幹雄	副理事 佐藤 宏
幹 事 岡野 員人	幹 事 大村 力也	幹 事 高橋 良
幹 事 石原 誠	幹 事 牛久 誠	幹 事 佐久間貴志
連絡員 石原 誠	連絡員 大村 力也	連絡員 佐久間貴志
(4地区) 理 事 原口 尚徳	(5地区) 理 事 木村 和弘	
副理事 植木 寛	幹 事 大和田 亮	
幹 事 本郷 宗史	幹 事 寺島 洋一	
幹 事 新井 宏幸	連絡員 外石 充	
連絡員 本郷 宗史		

選挙管理委員会 (令和4年・5年度) 委員長 井戸沼 佳明 委 員 北島 正喜/桐山 岳

## 各地区連絡員担当施設名一覧

(令和5・6年度)

担当地区	連絡員名	施設名
1地区	石原 誠	那須赤十字病院・菅間記念病院 黒須病院・国際医療福祉大学・国際医療福祉大学クリニック 国際医療福祉大学塩谷病院・国際医療福祉大学病院・菅又病院 栃木県医師会塩原温泉病院・中津川循環器科内科クリニック・那須高原病院 那須中央病院・那須脳神経外科病院・那須南病院・福島整形外科病院
2地区	大村 力也	獨協医科大学日光医療センター・足尾双愛病院・今市病院・鹿沼脳神経外科 上都賀総合病院県・川上病院 獨協医科大学病院・西方病院・日光市民病院・日光野口病院 野木病院・整形外科メディカルパパス・おもと乳腺外科クリニック
3地区	佐久間 貴志	済生会宇都宮病院・荒井胃腸科外科・宇都宮記念病院・宇都宮健康クリニック 宇都宮セントラルクリニック・宇都宮第一病院・宇都宮中央病院・柴病院 宇都宮東病院・うつのみや病院・宇都宮南病院・倉持整形外科内科今宮 倉持病院・国立病院機構栃木医療センター・国立病院機構宇都宮病院 御殿山クリニック・インターパーク倉持呼吸器内科・佐藤病院 栃木県保健衛生事業団・宇都宮脳脊髄センターシンフォニー病院 栃木県立がんセンター・栃木県立リハビリテーションセンター 日産自動車健康保険組合栃木地区診療所 沼尾病院・芳賀赤十字病院・福田記念病院・星脳神経外科 本田技研工業株式会社四輪事業本部ものづくりセンター・真岡病院
4地区	本郷 宗史	佐野厚生総合病院・足利赤十字病院・足利第一病院・今井病院 大岡胃腸内科医院・鹿島整形外科・かみもとスポーツクリニック 佐野市民病院・皆川病院・長島医院
5地区	外石 充	自治医科大学附属病院・石橋総合病院・小金井中央病院・新小山市民病院 とちぎメディカルセンター総合健診センター・みなみ整形外科・大平下病院 とちぎメディカルセンターしもつが・とちぎメディカルセンターとちのき 中野病院・三田整形外科・苅部医院・薬師寺運動器クリニック
その他	事務局	自宅・県外勤務者

## 地区別担当連絡員

(令和5・6年度)

地区	連絡員名	勤務先名	勤務先住所	勤務先電話番号
1	石原 誠	那須赤十字病院	〒324-8686 大田原市中田原 1081-4	0287(23)1122
2	大村 力也	獨協医科大学日光医療センター	〒321-1298 日光市森友145-1	0288(23)7000
3	佐久間 貴志	済生会宇都宮病院	〒321-0974 宇都宮市竹林町 911-1	028(626)5500
4	本郷 宗史	佐野厚生総合病院	〒327-0843 佐野市堀米町 1728	0283(22)5222
5	外石 充	自治医科大学附属病院	〒329-0498 下野市薬師寺 3311-1	0285(58)7149
	(一社) 栃木県診療放射線技師会事務所		〒320-0032 宇都宮市昭和 1-3-10 栃木県庁舎西別館 404号	028(625)7979

# 役員人事



会長



吉成 亀蔵  
[勤務先：那須赤十字病院]

副会長



金田 幹雄  
[勤務先：獨協医科大学病院]

副会長



須藤 昌彦  
[勤務先：足利赤十字病院]

常務理事



大木 敦史  
[勤務先：那須赤十字病院]

総務部長



木村 和弘  
[勤務先：とちぎメディカルセンターしもつが]

財務部長



佐藤 宏  
[勤務先：栃木県立がんセンター]

学術部長



木村 友昭  
[勤務先：獨協医科大学病院]

広報部長



樋口 清孝  
[勤務先：国際医療福祉大学]

組織部長



柏崎 克彦  
[勤務先：宇都宮記念病院]

企画部長



三品 祐樹  
[勤務先：宇都宮記念病院]

地域医療対策部長



植木 寛  
[勤務先：佐野市民病院]

理事



半田 和也  
[勤務先：済生会宇都宮病院]

理事(1地区)



橘川 宏  
[勤務先：国際医療福祉大学病院]

理事(2地区)



木村 友昭  
[勤務先：獨協医科大学病院]

理事(3地区)



飯野 誠  
[勤務先：芳賀赤十字病院]

理事(4地区)



原口 尚徳  
[勤務先：佐野厚生総合病院]

理事(5地区)



木村 和弘  
[勤務先：とちぎメディカルセンターしもつが]

監事



小黒 清  
[勤務先：自宅]

監事



若林 克幸  
[勤務先：栃木県立がんセンター]

## 新任理事としての抱負

### 国際医療福祉大学病院 橋川 宏

今年度より、栃木県診療放射線技師会・第1地区理事を務めさせていただきます、国際医療福祉大学病院の橋川です。理事として技師会の活動に参加できることを嬉しく思う反面、身の引き締まる思いです。

令和5年5月8日より、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類感染症に移行されました。以前までは、会議、講習会・勉強会等もwebでの開催が多かったことと思いますが、これからは、web開催はもとよりハイブリッドや会場での開催も増えてくることが予想されます。5類に移行したとしても感染力そのものは変化したわけではありません。引き続きしっかりした感染対策のもと活動に携わっていただきたいと思います。

初めてのことで、いろいろとご迷惑をおかけすることと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



### 佐野厚生総合病院 原口 尚徳

今年度より第4地区理事を務めます佐野厚生総合病院放射線科の原口尚徳です。よろしくお願い致します。歴史ある県技師会理事に就任したこと、身が引き締まる思いです。これまで尽力していただいた諸先輩方に感謝申し上げます。

早いものでこの職に就いて15年を超えました。職場、家庭環境も15年前とは大きく変わり社会人としての責任の重さも感じております。

県技師会を通して社会に貢献できることは何なのか？日々考え、微力ながら皆様に貢献できるよう努めてまいります。初めての事ばかりで、至らぬ点もあるかと思っております。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



### 佐野市民病院 植木 寛

本年度より理事を務めさせていただきます佐野市民病院の植木と申します。

技師会の理事として、会長をはじめ、理事の皆様と協力し、微力ではありますが技師会活動に貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



### 済生会宇都宮病院 半田 和也

今年度より理事を務めさせていただきます、済生会宇都宮病院の半田です。

不慣れなことが多いため、吉成会長はじめ理事の皆様と協力させていただき、会員の皆様にご迷惑をお掛けしないよう微力ながら尽力させていただきます。

また、来年度は関東甲信越診療放射線技師学術大会が栃木県で開催されます。実行委員の1人として、無事に大会が開催できるよう、こちらも尽力いたします。よろしくお願い致します。

## 診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」の開催について

日々の診療において、必要な基礎知識・技術の再認識と更なるレベルアップを目的としています。一般撮影に携わる方はもちろん、未経験の方も含めまして基礎学習として是非ご参加ください。

- 開催日：令和5年10月8日（日）
- 場所：栃木県総合文化センター（栃木県宇都宮市本町1-8） 3階 特別会議室
- 定員：100名
- 受講料：日本診療放射線技師会会員 3,000円（非会員10,000円）
- 申込方法：日本診療放射線技師会ホームページ内のJART情報システムから申し込みください。
- 申込期間：7月31日（月）～9月24日（日）
- 注意事項：お車でお越しの方は、周辺の有料駐車場もしくは県庁地下駐車場をご利用ください。
- その他：申し込み数が少ない場合（20名未満）は開催が中止になります。

### 時間割

時限	時間	分	科目	講師（敬称略）
	9:00～ 9:20	20	受付	
	9:20～ 9:30	10	開講式・オリエンテーション	
1	9:30～ 10:15	45	診断用 X 線装置・画像処理装置	斎藤 祐太郎 とちぎメディカルセンターしもつが
2	10:15～ 11:00	45	撮影－1 胸部・ポータブル撮影	佐藤 宏 栃木県立がんセンター
3	11:15～ 12:00	45	撮影－2 腹部・骨盤	大木 敦史 那須赤十字病院
	12:00～ 13:00		昼休憩	
4	13:00～ 13:45	45	撮影－3 泌尿器・生殖器系 （造影を含む）	小島 和博 済生会宇都宮病院
5	13:45～ 14:30	45	撮影－4 頭頸部・甲状腺	岡野 真人 国際医療福祉大学
6	14:45～ 15:15	30	撮影－5 歯科・顎骨・口腔	飯野 誠 芳賀赤十字病院
7	15:15～ 16:15	60	撮影－6 脊柱・関節・上下肢・軟部	木村 友昭 獨協医科大学病院
8	16:30～ 17:15	45	注意点および検像	高橋 良 栃木県立がんセンター
9	17:25～ 17:55	30	技能検定試験	
	17:55～ 18:05	10	閉講式	

## 第99回 栃木県診療放射線技師会定時社員総会開催報告

- 開催日：令和5年6月3日（日）
- 開催場所：栃木県総合文化センター 第1会議室  
(栃木県宇都宮市本町1-8 電話：028-643-1000代)
- 正会員数：519名
- 有効出席者数：393名（内訳：会場出席者24名、委任状出席者306名、書面議決使者63名）
- 議事録作成人：大木 敦 史（那須赤十字病院）
- 議事録署名人：吉 成 亀 蔵（那須赤十字病院）  
金 田 幹 雄（獨協医科大学病院）

副会長の須藤昌彦が開会宣言し、会長の吉成亀蔵の挨拶で総会が始まりました。

総会議事に先立ち、本技師会の35年・20年勤続功労表彰が行われ、35年表彰者7名、20年表彰者13名が表彰されました。

総会運営委員長が午後4時10分時点の正会員数と有効出席者数を報告し、本総会が成立することを宣言しました。続いて、議長・議事録作成人並びに議事録署名人の選出を執行部一任でよいか諮ったところ賛成多数にて、議長に理事の田中潤子、議事録作成人に理事の大木敦史、議事録署名人に代表理事で会長の吉成亀蔵、副会長の金田幹雄が選任されました。

第1号議案：令和4年度事業報告を会長の吉成亀蔵、第2号議案：令和4年度会計決算報告を財務部長の佐藤宏、第3号議案：令和4年度監査報告を監事の若林克幸が行い、それぞれの議案に対し会場に諮ったところ満場一致で承認されました。

第4号議案：令和5年度事業計画及び収支予算書については報告事項であるため、事前に配布した総会資料を供覧していただいているとみなし、質疑のみ募るも意見はありませんでした。

第5号議案：その他としての提案はなし。

第6号議案：令和5年度・6年度役員選挙では選挙管理委員会より候補者名が読み上げられ全候補者が承認され、当選となりました。

議長は全ての議決が完了したことを宣し、降壇しました。

副会長の金田幹雄が閉会を宣言し、解散となりました。



司会を務める園部理事



開会を宣言する須藤副会長



挨拶する吉成会長



35年及び20年勤続功労表彰を受けた会員



総会の成立を宣言する飯野総会運営委員長



議事を進める田中議長



執行部



監事



選挙管理委員会 井戸沼委員長



閉会を宣言する金田副会長

## 令和5年度 第1回 卒後教育講座開催報告

- 開催日時：令和5年6月3日（日） 14時00分～15時50分
- 会場：栃木県総合文化センター 第1会議室
- 参加人数：現地参加 42人  
オンデマンド視聴（22名 内6名は現地参加もしているため、重複除外は16名）  
述べ合計 64名（会員 58名 重複除外人数）

- 内容：「DRの悩み解決!! ～DR、血管造影、MMGの最適化を進めるには～」

座長：獨協医科大学病院 木村 友昭

### 講演Ⅰ DR：撮影条件や画像処理、視覚評価について

講師：獨協医科大学埼玉医療センター 諏訪 和明 先生

### 講演Ⅱ 血管造影：透視条件、画像処理について

講師：獨協医科大学埼玉医療センター 五十嵐 正史 先生

### 講演Ⅲ MMG：MMG画像の評価や撮影条件、画像処理について

講師：獨協医科大学埼玉医療センター 小長根 麻紀 先生

令和5年度第1回卒後教育講座を栃木県総合文化センターにて開催し、58名の参加をいただきました。

今回の講義はDR・血管造影・MMGの画像の最適化を進めるにあたって必要な撮影条件や画像処理、視覚評価など充実した講演内容となりました。

講演Ⅰとして、獨協医科大学埼玉医療センター諏訪和明先生による「DR：撮影条件や画像処理、視覚評価について」ご講演を賜りました。まず、DR画像の最適化についてお話しいただきました。最適化を進めるにあたっては、読影医が何をみたいのか？患者さまの疾患は何か？などを含めて行う必要があります。DRLsから被ばく線量を考慮し、撮影条件・画質について検討していく必要があります。初めに行うことは、自施設で使用しているシステムを把握するための物理評価と視覚評価です。また、装置の更新に伴う撮影条件の見直し、コントラストの調整な

どの画像処理、複数メーカーでの装置間の画像比較を行う必要もあります。これらを行うために必要なデジタルシステムに関する構造や特徴など基礎的なことを聴くことができ再学習することができました。また、物理評価を行うにあたって注意する点について詳しく知ることができました。

次に、病院内での最適化への取り組みについてお話しいただきました。物理評価・視覚評価の結果を元に、画像処理後の画像評価を医師や部門スタッフにお願いし、撮影条件の検討・画像処理の検討を行います。臨床画像の評価の仕方について、濃度（輝度・感度）・コントラスト・粒状性（ノイズ）・解像度（鮮鋭度）、それぞれ説明をしていただき、DRシステムの画像処理過程についても再学習できました。

最後に、最適化の取り組みにおいて、①臨床で求められる画像（画質）を知る（臨床医による評価が必要であり、各撮影部位による評価ポイントを知る

こと)、②画質を達成するための画像処理を決定する(使用しているメーカーの画像処理を把握すること)、③画像処理が確実に行える撮影条件を決定する(Detectorの特性やX線被写体における特性などを知る)以上のことがポイントとなるとご教授いただきました。

また、最適化への取り組みを行った実際の例についても何例かお話しいただき、自施設で行う際に役立つ内容が多く、是非参考にしたいと感じる講演内容でした。

講演Ⅱとして、獨協医科大学埼玉医療センター五十嵐正史先生による「血管造影：透視条件、画像処理について」ご講演を賜りました。血管造影・透視検査における最適化では、ALARAの原則と診療における放射線量の最適化を前提に画像処理でできることを検討します。それには装置について知ることが重要となります。五十嵐先生の施設では、装置特有の画像処理技術について、メーカー・アプリ担当を通じて、ユーザー側で変更可能な機能(特有機能: octave SP)があるかを調べました。特有機能の中で、SNRF(ノイズ低減フィルター)とDCF(デジタル補償フィルター)が変更可能であったとのこと、これらの設定値などについて検討した内容を紹介していただきました。

今回の検討目標として、SNRFの有無及びDCFの挙動を把握し、胸部透視検査(主に縦郭部での視認性と黒つぶれ)、上部消化管検査(胃部の白とび)に対する視認性向上が目標設定されていました。ファントムを使用してSNRF設定値のSDの測定や高線量領域・低線量領域におけるDCFの設定値、DCFを変化させた場合のCNRの値について視覚評価を用いて比較・検討が行われました。その結果から、今回設定した目標に対する結果は、胸部透視検

査においてSNRFはon(Auto)、DCFは低線量部圧縮・5 高線量部圧縮・0、上部消化管検査においてSNRFはon(Auto)、DCFは低線量部圧縮・5 高線量部圧縮・6となりました。この結果を用いて、臨床で使用するプロトコルの画像処理を決める過程へと進みました。この講演は1つ1つの設定値の決め方や画像の評価・物理評価など細かく知ることができとても参考になりました。

講演Ⅲとして、獨協医科大学埼玉医療センター小長根麻紀先生による「MMG：MMG画像の評価や撮影条件、画像処理について」ご講演を賜りました。マンモグラフィー撮影は、乳がんの死亡率を減少させることが科学的に立証されており、乳がん検診として推奨されています。正常乳腺と病変(腫瘍)とのX線吸収係数の差が少ないのでこの差を画像上で表現することが重要となります。よって、マンモグラフィーに関連したシステムの精度管理・最適化が必要となります。撮影・授像システムはメーカーによって仕様が異なるため、使用する装置の特徴を知ることが重要です。撮影技術については、圧迫の重要性(患者さまが耐えうる最大限の圧迫が必要)を構築のみだれについての紹介と共にお話しいただきました。また、乳腺の開きの重要性・画像処理(マルチ周波数処理・ダイナミックレンジ圧縮)について、実際の画像を使って説明していただいたので詳細に知ることができました。装置更新に伴う最適化の進め方についてもご説明いただきました。撮影線量と画像処理については、それぞれ視覚評価とCNRの良好な画像を選択するようにします。小長根先生の施設の装置ではDBTが撮影可能となりましたが、被ばく線量を考慮し、診断医・読影医と相談した結果、患者さんの状態や2D画像での病変の描出状態により、一定の状態を満たした場合のみ追加する運用と

なりました。最後に、乳がん罹患する患者さんは年々増加しておりますが、これを防ぐためには、①ポジショニングの技術を磨く、②病気を病気として、正常を正常として描出する、③自施設装置の特性を熟知する、④読影する医師が見やすい画像を提供する、これらのことを踏まえて、最適化を進めていくことが重要であるとお話いただきました。

今回の卒後教育講座は、DRについて自施設で画像の最適化を進めるにあたってどのように進めたら

いいか、また、何から始めればいいのかなど、日頃、疑問に思っていることについて原理から応用まで講演していただきました。自施設のシステムを知り、画像処理について学び、撮影条件・処理条件を決めていくという過程と目標設定の大切さを再認識することができました。各施設で明日から実際に始められる講演内容であり、有意義な講演であったと感じています。この卒後教育講座を機に、DRについて興味を持っていただけたらと思います。以上で、開催報告とさせていただきます。



開会の挨拶をする吉成会長



座長を務める木村理事



獨協医科大学埼玉医療センター

(左から) 諏訪和明 先生、小長根麻紀 先生、五十嵐正史 先生

学術部 田中潤子

## 令和5年度 栃木県診療放射線技師会 フレッシューズセミナー開催報告

- 開催日時：令和5年6月11日（日） 9時00分～15時30分
- 会場：栃木県総合文化センター 第2会議室
- 参加人数：29人

### 内容

栃木県診療放射線技師会は令和5年6月11日（日）にフレッシューズセミナーを開催した。日々の診療における基礎知識の習得、職場におけるコミュニケーションづくり、県内の診療放射線技師間のネットワークの構築を目的とし、エチケット・マナー、医療コミュニケーション、医療安全、放射線医療と私たちの歴史、感染対策、被ばく低減、入会案内の7科目を用意し対面形式で開催した。

対象者を免許取得後1～2年目の診療放射線技師とし県内各施設に通知したところ、16施設から29名の参加があった。フレッシューらしく初々しい姿が眩しく、真剣に聴講している姿が印象的だった。本年は「放射線医療と私たちの歴史」と題して放射線医学の発展に寄与した偉人の紹介と技師会の歴史についての講義を独自に企画した。会員の皆様も興味があれば参加した受講生に聞いていただければ幸いである。

自己紹介の場も用意したので、本セミナー受講や本会入会を契機に新たな横のつながりを構築してほしい。今後は同じ放射線技師会会員として卒後教育講座や学術研究発表会等で研鑽し、会全体を盛り上げていきたい。



理事 佐藤 宏

## フレッシューズセミナーを終えて

地方独立行政法人 新小山市民病院 岩瀬 颯人

先日はお忙しい中フレッシューズセミナーを開催していただき、誠にありがとうございました。医療従事者として必要となるマナー、安全管理、感染、被ばく対策など、基礎知識を学ぶ良い機会となりました。

特にマナーと医療コミュニケーションについての講義を受けたことで、患者様や先輩方、多職種の方々に対する自分の対応に失礼がなかったか、自分の行動を1つ1つ振り返ることができました。

また、感染対策、被ばく対策においても、他院で行われている工夫を紹介していただいたことで自分自身の対策が十分かどうか見直すことができました。

業務に慣れてくることで基礎的な部分が疎かになる部分もあるかと思うので、今回のセミナーで学んだ基礎をしっかりと固めて業務に取り組んでいきたいと考えています。

放射線技師会への入会も考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

## フレッシューズセミナーに参加して

石橋総合病院 長 智美



令和5年6月11日に栃木県総合文化センターで開催された新人診療放射線技師を対象としたフレッシューズセミナーに参加しました。医療従事者に必要な医療安全、マナーやエチケット、感染対策について講義を通じて学びました。中でも印象に残ったものは医療安全に関する講義です。実際に発生したインシデントやアクシデントを紹介していただき、自分では予測できない事例や今後起こす恐れのあることについて知ることができました。1件の重大な事故が発生する背景には29件の軽微な事故と300件のヒヤリハットがあります。重大な事故を未然に防ぐにはヒヤリハットを減らす必要があり、そのためには人間はミスをするという考えに基づいて対応や改善策を講じ、その内容を共有することが必要であると分かりました。

インシデントやアクシデントが発生する原因の1つに思い込みが挙げられます。思い込みによって撮影指示を見逃すことのないように、撮影する患者、撮影部位、撮影方向が合っているかどうか確認しながら、業務を行うことが大切であると感じました。また、新人によるインシデントは7月～9月に最も多いとのことでしたので改めてルールの確認や、自分を客観視して改善点を見つけ、事故防止に努めたいです。

今回のセミナーで学んだことを生かし、日々の業務に取り組んでいくとともに、今後もこのような勉強会に参加し、知識を深めていきたいと考えております。

今回のセミナーで学んだことを生かし、日々の業務に取り組んでいくとともに、今後もこのような勉強会に参加し、知識を深めていきたいと考えております。

## 第86回公益社団法人日本診療放射線技師会 定時総会参加報告

- 開催日時：令和5年6月10日（土） 10時00分～
- 会場：Webex ウェビナーによるオンライン形式

第86回定時総会が令和5年6月10日(土)午前10時から日本診療放射線技師会事務局会議室を会場にWebex ウェビナーによるオンライン形式で開催され、栃木県代議員として吉成会長、須藤副会長、金田の3名が出席した。

総会資料は日本診療放射線技師会誌6月号に掲載されているので参照願いたい。

オンライン形式とはいえ開会20分前までの入室が求められ、開会後には入室できないなど会場型同様に厳格に行われた。なお、投票システムの都合上、スマホ、タブレットは不可とされ、PC端末からの出席をお願いされた。また、パソコンのトラブル等で一度退出してしまった場合は再入室することができなくなる。総会開催日の2週間ほど前に事前接続テストが行われるのでそこで接続環境等を確認しておくことが重要であった。

総会は予定どおり定時に開会、総会次第に沿って進行し、報告事項に続き、議案として会費等納入規程改正（案）について、北村善明元会長の名誉会員について、会計監査法人の選任についての3議案について審議が行われた。

第1号議案の会費等納入規程改正（案）については、「出産、育児」に関する会費免除について具体的に規定するように改正するものであり賛成多数で可決された。

第2号議案の北村善明元会長の名誉会員については、長年常務理事及び会長として日本診療放射線技師会の発展と会員の資質向上に貢献された北村善明氏の功績を称え、定款5条第1項第2号に基づく名誉会員に推薦するものであり、賛成多数で可決された。

第3号議案の会計監査法人の選任については、現任の大光監査法人の任期終了によるものであり、新たな会計法人として銀座税理士法人・銀座公認会計士共同事務所が提案され、賛成多数で選任された。

最後に9月29日(金)より開催される第39回日本診療放射線技師学術大会のPR動画による紹介が熊本県診療放射線技師会西小野大会長より行われ、約2時間に及び総会は無事終了した。

副会長 金田 幹雄

## 2023 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 体験記

済生会宇都宮病院 阿部 翔 吾

今回、山梨県甲府市で開催された今大会に参加させて頂きました。辺り一面、山に囲まれた甲府市は山登りをすることもある自分にとっては非常に感慨深い景色のある都市でありました。今大会は2日間に渡って開催されました。プログラムは演題発表のみではなく、各分野の基礎セミナー、各メーカーによる最新情報の提供、スペシャリストを招いたシンポジウム、特別講演など様々な内容となっておりました。各講演はそれぞれ会場が用意されており、1講演 20~90分程度。隣接した会場となっているので移動もスムーズに行うことができました。私は主に職場ではMRIを担当することが多いですが、MRIについての基礎から最新の技術まで学ぶことができました。今回、私自身も演題発表の機会を頂きましたが、その際に頂いた意見を参考に次のステップへの課題が明確になりました。他施設の演題発表においても、自施設にはない取り組みを行っていること、研究に対する姿勢など勉強になることが多く、また刺激にもなりました。今大会では1分野に限らず、他分野の講演、各メーカーによる講演、シンポジウム、特別講演にも参加することができ、1分野に偏らない知識を吸収できたことがとても満足のいく学会参加となりました。



## 2023 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 体験記

獨協医科大学病院 金子 凌 大

2023年6月24日～25日の2日間にわたり、山梨県甲府市の山梨大学甲府キャンパスで開催された「2023年度関東甲信越診療放射線技師学術大会」に参加した。大会テーマは、「日に新たにまた日々新たなり～心と技術をつなぐ甲斐～」となっており、宮崎大会長の言葉のとおり「診療放射線技師が、たとえ厳しい状況にあっても、医療専門技術職として『日々向上して止まない心』を皆と共有できるように」という願いが込められていた。

その言葉どおりに、一般演題と学生演題含めると52演題の発表が行われ、多くの議論が行われていた。また、畦元将吾衆議院議員の特別講演や義足ハイジャンパーである鈴木徹選手の市民公開講座などのお話を聞く事ができ、とても有意義な時間を過ごさせていただいた。

今回、私は一般演題 CT 検査 -2 に演者として参加して「X線 CT 装置の回転照射法を用いた実効エネルギー測定における最適な照射時間」というタイトルで発表させていただいた。今回のタイトルは、第18回栃木県診療放射線技師学術研究大会で発表を行った「X線 CT における異なる測定方法での実効エネルギーの比較」での考察の1つを検討したものである。発表の際に、貴重な意見や質問をしていただき、これらを参考にして、さらに自分の研究に活かしていきたいと感じた。また、他院の方の発表や施設の話を知ることができ、良い刺激になった。これからも診療放射線技師として向上心をもって、仕事や研究や発表を行っていきたい。



## 会の動静

- 4/20 第1回理事会  
(栃木県庁舎西別館共用会議室)
- 5/11 あすたーとVol.52 配信
- 6/3 第1回卒後教育講座  
(栃木県総合文化センター)  
第99回定時社員総会、勤続35年・25年表彰
- 6/10 日本診療放射線技師会第86回定時総会
- 6/11 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー  
(栃木県総合文化センター)
- 6/15 第2回業務執行理事会  
(栃木県庁舎西別館共用会議室)
- 6/24～25 関東甲信越診療放射線技師学術大会  
(山梨大学 甲府キャンパス)
- 7/3 第4回理事会 (栃木県庁舎西別館会議室)
- 7/16 令和5年度全国地域連絡協議会  
(三田国際ビル事務所 Web開催)
- 7/23 第6回告示研修 (栃木県総合文化センター)



## 会員の動静

令和5年8月1日現在 (敬称略)

### ■ 会員総数 522名

第1地区	90名	第2地区	104名
第3地区	166名	第4地区	64名
第5地区	98名		

### ■ 入 会

飯田 友希	石橋総合病院
加藤 大暉	社会医療法人中山会 宇都宮記念病院
野原 日奈	足利赤十字病院
石原 誠	那須赤十字病院
菅野 花澄	獨協医科大学病院
西巻 玲奈	那須赤十字病院
梶原 七海	独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター
加野島 陸	済生会 宇都宮病院
高橋 朋暉	とちぎメディカルセンターとちのき
藤田 あずさ	獨協医科大学病院
田中 唯穂菜	済生会 宇都宮病院
古橋 香奈	獨協医科大学病院
大沢 優衣	とちぎメディカルセンターしもつが

### ■ 転 入

小平 将貴	医療法人安慈会みなみ整形外科 群馬県より
-------	-------------------------

### ■ 退 会

田中 美穂
浜田 悠斗

### ■ 転 出

齋藤 直樹	群馬県へ
羽石 太樹	大阪府へ
片岡 早姫	東京都へ
佐藤 麻耶	福島県へ

## 令和5年度 活動予定表

<b>令和5年</b>	11/ 4(土) 第2回卒後教育講座 第5回理事会
9/10(日) 第7回告示研修 (国際医療福祉大学)	11/ 5(日) 第10回告示研修
9/18(月) 第8回告示研修 (栃木県総合文化センター)	(栃木県総合文化センター)
9/22(金)～24(日) 磁気共鳴医学会大会 (軽井沢プリンスホテル ウエスト)	12/ 2(土) 第4回業務執行理事会
9/29(金)～10/1(日) 第39回日本診療放射線技師学術 大会 (熊本城ホール・Web)	<b>令和6年</b>
9/30(土) 会費納入期限	1/ 5(金) 会誌115号発行
10/ 8(日) 診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」 (栃木県総合文化センター)	1/13(土) 第6回理事会
10/12(木) 第3回業務執行理事会	2/ 4(日) 第6回技師長サミット
10/22(日) 第9回告示研修 (栃木県総合文化センター)	2/10(土) 第19回学術研究発表会抄録集発行
10/27(金)～10/29(日) 日本放射線技術学会秋 (名古屋国際会議場・Web)	2/15(木) 第5回業務執行理事会
	3/ 2(土) 第3回卒後教育講座 第7回理事会

## ご案内

### 第10回 栃木 MRI 技術研究会@ WEB

テーマ：しびれ

開催日時：2023年9月2日(土) 15:00～17:00

開催形式：WEB (Zoom Webinar)

参加費：500円

(Pass Market[第10回栃木MRI技術研究会-パスマーケット(yahoo.co.jp)]よりお申し込みください。なお、お申し込み後の返金はお受けすることができません。)

参加方法：必ず事前登録をお願いします。

共催：栃木MRI技術研究会

バイエル薬品株式会社

代表世話人：中室智之 (足利赤十字病院)

\*この研究会は日本磁気共鳴専門技術者認定機構の認定研究会です。

## ご案内

### 令和5年度 各地区卒後教育講座予定

今年度の各地区卒後教育講座の開催予定をお知らせします。

開催方法など詳細は確定次第、ホームページ等で情報公開いたします。



卒後教育講座		開催日	内容
第1地区	第1回	令和5年10月19日(木)	① GEにおけるCT・MRIのトピックス(仮) ② 各施設のちょっと気になる症例報告
	第2回	令和6年2月29日(木)	(未定)
第2地区	第1回	(未定)	(未定)
	第2回	(未定)	(未定)
第3地区	第1回	令和5年10月5日(木)	各施設特有の撮影方法や検査紹介(仮)
	第2回	(未定)	(未定)
第4地区	第1回	令和5年9月14日(木)	(メーカー講演を予定)
	第2回	(未定)	(未定)
第5地区	第1回	令和5年10月26日(木)	(未定)
	第2回	(未定)	(未定)

一般社団法人栃木県診療放射線技師会

あすたーと

2023  
Aug.

Vol. 53

編集・発行

発行人 吉成 亀蔵

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会

〒320-0032 宇都宮市昭和1丁目3番10号

栃木県庁舎西別館404号

TEL・FAX 028-625-7979

銀行振込:足利銀行本店 (普通)1785921

郵便振替:00340-3-35730

URL <http://www.tartnet.com/> E-mail [tart@ce.mbn.or.jp](mailto:tart@ce.mbn.or.jp)